

水産海洋学会研究発表大会シンポジウム
「北海道周辺海域をモデル海域とした海洋環境変動に対する
水産資源の応答とその持続的利用」

主催：一般社団法人水産海洋学会

日時：2015年10月9日（金） 10:00～17:00

場所：釧路市観光国際交流センター（北海道釧路市幸町3-3）

コンビナー：金岩 稔（東農大生物産業），黒田 寛（水研セ北水研），志田 修（道総研釧路水試），
山口 篤（北大院水産）

挨拶：和田時夫（一般社団法人水産海洋学会長） 10:00～10:05

趣旨説明：志田 修（道総研釧路水試） 10:05～10:15

【第一部】 海洋環境および低次生産の変動 座長：山口 篤（北大院水産）

1. 北海道周辺海域における海洋環境変動 10:15～10:55

黒田 寛（水研セ北水研）

2. 北海道周辺海域における植物・動物プランクトンの変動 10:55～11:30

嶋田 宏（道総研中央水試）

【第二部】 水産資源の変動 座長：田中寛繁（水研セ北水研）

3. 北海道周辺海域における主要魚種の資源状態・動向の概要 11:30～11:55

志田 修（道総研釧路水試）

4. 北海道沿岸域におけるシロサケの来遊状況および幼稚魚の移動 13:00～13:25

春日井 潔（道総研さけます内水面水試）

5. スケトウダラの資源変動と管理 13:25～13:50

船本鉄一郎（水研セ北水研）

座長：品田晃良（道総研中央水試）

6. スルメイカの資源変動と漁場形成 13:50～14:15

山下紀生（水研セ北水研）

7. 北海道沿岸におけるコンブ・磯根漁業と近年の海洋環境変動 14:15～14:40

秋野秀樹（道総研中央水試）

8. 本道対馬暖流水域における養殖ホタテガイの再生産過程 14:40～15:05

西田芳則（道総研函館水試）

【第三部】 水産資源の変動に対する市場の応答 座長：金岩 稔（東農大生物産業）

9. 北海道水産物の流通の現状と道漁連の施策について 15:15～15:45

瀧波憲二（漁連釧路支店）

10. ネットワーク型水産加工業の発展と拠点一産地加工業の役割をどうとらえるか—15:45～16:15

山尾政博（広大院生物圏科学）

【総合討論】座長：金岩 稔（東農大生物産業），黒田 寛（水研セ北水研），志田 修（道総研釧路水試），
山口 篤（北大院水産） 16:15～17:00

開催趣旨：北海道は太平洋，日本海，オホーツク海に囲まれており，各海域で独立した海洋環境変動もあれば海域間で同期あるいは相互作用する変動もあり多様である．また，道周辺に分布する水産資源の中には，一つの海域で生活史を閉じる資源もあれば，生活史段階に応じて海域間を横断的に利用する資源，他海域から来遊する資源もある．そのため環境変動に対する水産資源の応答も複雑になる．本シンポジウムでは，第一部で北海道道周辺の海洋環境および低次生産の変動，第二部で海洋環境と漁業や資源変動との関係，第三部で水産物の流通，消費，価格など資源変動に関連した市場の変化について紹介する．総合討論では，水産資源の持続的利用について，資源管理と流通の両視点から今後進むべき方向性を議論する．